

## 建築公開／慶應義塾の建築プロジェクト

渡部 葉子（慶應義塾大学アート・センター）

本大会期間中 10 月 15 日 11:30-15:00 に学内の建築の特別公開を実施いたします。重要文化財に指定されている演説館と姿を変えて移設されている旧ノグチ・ルームです。1874 年に三田演説会が福澤諭吉を中心に発足すると、翌年に日本初の演説会堂として竣工したのが演説館です。なまこ壁が特徴的な和洋折衷様式の建築です。一方、旧ノグチ・ルームは戦後のキャンパス再建を託された谷口吉郎が設計した研究室棟の談話室部分でイサム・ノグチが室内、家具、付属する庭園をデザインし、さらに三体の彫刻を制作、学内ではノグチ・ルームと呼ばれていました。2005 年限研吾が関与して形を変えて移設され、現在に至ります（\*）。このような建築公開はアート・センターの「慶應義塾の建築プロジェクト」の一環として毎年開催されています（\*\*）。今回の会場案内には、この建築公開「建築プロムナード」用の地図を援用して、建築物や美術作品の場所とデータをご提供しています。このプロジェクトの特徴は「ユーザーマインド」の建築の捉え方にあります。建築をその竣工時を完成として捉えるのではなく、用途がある建築の生はむしろ竣工時から始まると捉えてプロジェクトを進めています。

慶應義塾の建築プロジェクトの詳しい活動（\*/\*）については、それぞれ以下からご参照ください。

\*旧ノグチ・ルームのプロジェクトについて

<https://www.futurelearn.com/courses/invitation-to-ex-noguchi-room-preservation-andutilization-of-cultural-property-in-university>

\*\*慶應義塾の建築プロジェクトについて

<http://www.art-c.keio.ac.jp/research/research-projects/keioarchitecture/>